



平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 ク レ オ  
代表者名 代表取締役社長 土屋 淳一  
(JASDAQ・コード 9 6 9 8)  
問合せ先 執行役員管理本部長 石塚 敏明  
TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 21 年 3 月期 特別損失の発生及び業績予想の差異に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）におきまして、特別損失を計上するとともに、平成 21 年 1 月 29 日に発表しました平成 21 年 3 月期の業績予想との差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1) 有価証券評価損

昨今の株式市場の低迷を受け、当社グループの財務状況をより厳密に精査した結果、投資有価証券評価損を計上することにいたしました。

投資有価証券評価損 : 連結 58 百万円、 個別 58 百万円

(2) 減損損失

当社の販売用ソフトウェアについて過去の事業実績を鑑み、その資産価値を保守的に再算定し資産計上額を見直すことと、のれんの減損損失を計上することといたしました。

ソフトウェア臨時償却額 : 連結 128 百万円、個別 128 百万円

のれん減損損失 : 連結 125 百万円、個別 120 百万円

2. 平成 21 年 3 月期 業績予想の差異（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,060	△160	△140	△460
今回修正 (B)	12,119	△105	△77	△504
増減額 (B - A)	59	55	63	△44
増 減 率	0.5%	—	—	—
(ご参考) 前期実績	12,892	49	42	△131

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,220	△230	△170	△420
今回修正 (B)	9,301	△183	△122	△469
増減額 (B - A)	81	47	48	△49
増減率	0.9%	—	—	—
(ご参考) 前期実績	9,750	△111	△57	△141

2. 修正の理由

(1) 連結業績

市況の悪化が続くなか、IT投資が抑制され、開発案件の減少、商談の延伸や失注、値下げ要求など当社グループを取り巻く環境もより一層厳しいものとなっております。

第4四半期においては、受注環境が一層厳しくなる中、ZeeM製品の売上が前年度を上回るなど健闘し、概ね計画通り推移いたしました。営業利益、経常利益については業務効率化による収益率の向上を図り予定を上回る見込みとなりました。しかしながら、前述の理由による特別損失の発生により当期純利益については予定を下回る見込みです。

(2) 個別業績

連結業績予想と同様の理由によります。

以 上